

仙塩道路利府ジャンクション周辺に保管されている 建設残土の土壌調査結果と今後の対応について

- 仙台河川国道事務所では、仙塩道路利府ジャンクション周辺の道路区域に保管されている約5万m³の建設残土処理にあたり、土壌調査を行ったところ、一部の土壌よりヒ素を確認しました。このヒ素は、自然由来によるものと考えられます。
- 土壌調査の結果、ヒ素以外の項目は基準値以下であり、周辺の水質についても調査した結果、全項目で基準値以下となっています。
- 今後、土の処理方法については、専門家等からの助言をいただくとともに、関係機関と連携しながら適切に対応してまいります。

1. 土壌調査結果について

利府ジャンクション周辺に保管されている土砂の195箇所で行った土壌調査のうち、52箇所（約27%）で基準値を超過しており、最大値は以下のとおりです。

項目	溶出量試験結果	土壌汚染対策法の基準値
ヒ素	0.031mg/L	0.01mg/L

(参考) 食品衛生法上の基準は、清涼飲料水類に含まれるヒ素：0.05mg/L 以下

2. 残土の保管状況について

当該残土は平成23年から27年3月までに仙台河川国道事務所が実施した仙塩道路工事等で発生したものであり、道路区域内において、立入防止柵により一般の立入を制限し、シートにより被覆管理している状況です。

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

(お問い合わせ先)

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

TEL 022-248-4131 (代)

副所長 (改築) えんどう まさし
遠藤 雅司 (内線205)

仙塩道路及び利府ジャンクション【位置図】



利府ジャンクション

仙塩道路

仙塩道路 延長 = 7.8km 幅員 = 22.0 ~ 23.5m

延長 = 2.7km

延長 = 2.9km

延長 = 2.2km

